



平成29年9月4日

発行 長野市立篠ノ井東中学校

人にやさしく、自分によさ

〒380-8003 長野市篠ノ井小森 840 TEL 0262-292-0135 FAX 0262-292-0637  
http://www.ngano-ngn.ed.jp/shinoh/jh/ E-mail shinonoihigashi@jh-naganongn-ed.jp

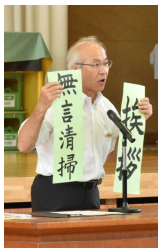
## 2 学 期 始 ま る

8月24日より、2学期が始まりました。1年間で最も長い学期で桐章祭をはじめとして、大きな行事を控えた学期です。進学や進級に向けて基礎固めをしていく学期でもあります。始業式の際に代表の1年加藤美幸さん・2年青木聖太郎さん・3年小池悠馬さんに学年や個に即した決意を発表してもらいましたが、皆さんも自分の目標をもち、実現に向けて努力していく学期にしてください。充実した85日間にししましょう。



【始業式 発表者】

### 8 月 校 長 講 話 【2 学 期 始 業 式】



おはようございます。30日ありました夏休みが終わり、今日から2学期がスタートしました。1学期の終業式の時にお話をしましたが、夏休み中、皆さんの「やる気スイッチ」は入ったでしょうか。休み中、部活動で登校していた皆さんの様子を見ていますと、皆、暑さに負けず、懸命に練習に打ち込んでいる姿も見られ、素晴らしかったです。夏休みに蓄えた力を、ぜひ、今日からの2学期の生活に生かしてほしいと思います。先程は学年代表の皆さんから、2学期の目標を語っていただきました。2学期は実りの学期です。皆さんも、ぜひ目標を目指して充実した学期にしてください。

2学期のスタートにあたり、本校の伝統について話をします。皆さんは、「東中学校の伝統は何ですか」と聞かれ、何を挙げますか。いろいろ、あると思うんですが、私は、「挨拶」と「無言清掃」の2点を挙げます。これらは、本校の卒業生が、篠ノ井東中学校時代に一つ一つの活動を積み上げ、本校の伝統にまで高めてきたものです。もっと言えば、先輩が築いてくれたものです。私たちの役割は、これらの伝統を自分のこととしてしっかり受け止め、東中生として日々の生活の中に、しっかり位置付けていくことだと思います。この2点の中から、特に「無言清掃」について触れたいと思います。

本校が、現在の無言清掃に取り組み始めたのが、平成19年度です。平成19年度と言いますと、「東中人権宣言」が作られた年です。当時の生徒会誌「学友」には、こんな風に書かれていました。

これまでの東中の清掃は、決して良い姿ではありませんでした。アンケート調査からも、清掃に自信を持っている人がほとんどいない実態が見えてきました。清掃の課題を克服するためには、どのような清掃を目指すのか見通しを持つ必要がありました。そこで、清掃をしっかり取り組むことを伝統にしている豊野中学校を訪問しました。訪問して驚いたことは、清掃中とても静かだということです。話をしている人は誰もいませんでした。物の動く音以外は全く何も聞えませんでした。私たち東中生には衝撃でした。

ということで、この年から、黙想を取り入れるようにしたということです。そして、全校で清掃について真剣に取り組むことで、はじめは、「やらせられる」という気持ちだったのが、「やりたい」という気持ちに変わってきたということが書かれていました。では、なぜ、本校では無言清掃に取り組んでいるのでしょうか。無言清掃に取り組んだ先輩の作文を紹介します。

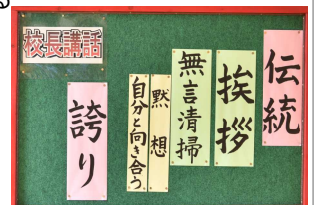
#### 「無 言 清 掃」

なぜ清掃をするのか。それは、そこから学ぶものがあるから。  
本校の清掃の基本は「無言清掃」。話したい気持ちを抑えることで、「がまん力」がつく。  
一人になることで 気づくことがある。  
気づきの清掃をすることで、私は時間いっぱい、感謝の気持ちを込めて清掃ができるようになった。  
清掃で人が変わる。  
行動の一つ一つを考えると、そこには必ず、それをやる理由と目的があることを私は日々の「無言清掃から学んだ。」

どうですか、私は、当時の皆さんの「学友」や「卒業文集」を読ませていただき、当時の東中は、清掃を学校生活の核になる活動と位置付け、全校で取り組んでいた様子が伝わってきました。改めて、無言清掃をすることの意味を教えられたように思います。また、夏休み中、当時の校長先生で、松代町にお住いの栗林秀夫先生からも、東中の無言清掃のお話をお聞きました。栗林先生は、「心は、取り出して綺麗にすることはできないので、清掃を通して心を磨くんです。清掃に打ち込む姿と、学習に真剣に取り組む姿は、根っこは同じです。気づいて主体的に黙々と、一人になって清掃する姿は、一時間一時間の学習に集中する姿にも通じます。」こんなお話をしてくださりました。

私は、今の東中に必要なことだなあと感じました。ぜひ、皆さん、清掃にしても、挨拶にしても、形だけを受け継ぐのではなく、こうした活動を、自分のこととして取り組むことで、自分を変え、高めてくれることを期待しています。

そうすることで、これらの「伝統」が、皆さん一人一人の「誇り」となっていくのだろうと思っています。皆さんが、受け継いだ伝統を、胸を張って、「誇れるよう」2学期の皆さんの前向きな姿を期待しています。



## 卒業生の活躍

### 26年度卒業生 鳥羽晃平さん 甲子園に出場

二松学舎大学附属高校に進学した鳥羽晃平さんは、東東京代表で甲子園(第99回全国高校野球選権大会)に出場しました。2回戦まで進み、レギュラーとして攻守共に大活躍していました。  
(写真左 8月8日 信濃毎日新聞より)

### 27年度卒業生 酒井優樹さん 全国高等専修学校体育大会 準優勝

豊野高等専修学校に進学した酒井優樹さんは第27回全国高等専修学校体育大会【スポーツ吹き矢】の部で準優勝しました。  
(写真右 中央の選手)



2人とも皆さんに比較的年齢の近い先輩です。皆さんに努力することの素晴らしさを教えてくださいたいと思います。また、つい最近まで東中に在籍していた先輩が全国大会で大活躍しているということはとても励みになりますね。

## 祝 傳田梨沙先生 \ 先生方に感謝

8月26日に傳田梨沙先生の赤ちゃん(女の子)が産まれました。母子共に健康だそうです。おめでとうございます。一方、皆さんは傳田先生の産育休の関係で、1学期後半、鈴木喜久江先生・牛山典子先生にお世話になりました。2学期からは高橋秀明先生に理科の授業を中心にお世話になっています。鈴木先生・高橋先生共に、ご挨拶の中で、皆さんのさわやかな挨拶や友への温かい接し方・整然とした整列の仕方などについて感心したという旨のお話をされていました。

傳田先生のご出産を祝うと共に、複数の先生方に関わっていただき、温かい目で見えていただきながら学校生活を送れることに感謝しましょう。



傳田梨沙先生



鈴木喜久江先生



高橋秀明先生

## PTA作業ありがとうございました

今季は、例年になく雨天の日が多く、校地の雑草も予想以上に増えてしまいました。そのような中、PTA作業に大勢の保護者の皆様に参加していただき、全面的にきれいにしていただきました。2学期が始まったこの時期、気持ちのよいスタートが切れそうです。ありがとうございました。



## 清掃週間 4日(月)～8日(金)

本日より清掃週間が始まり、縦割り清掃となります。前回の縦割り清掃は全員が真剣に行い、好評でした。夏休み中ワックがけできれいになった校舎をさらに磨きあげていきましょう。